

●レジ袋削減に向けたコンビニエンスストアとの取り組みについて

札幌市では、ごみ減量と二酸化炭素の削減を推進し、循環型社会の実現と地球環境の保全につなげることを目的に、2008年に市内のスーパー事業者等と「レジ袋削減に向けた取組みに関する協定」を締結し、レジ袋の削減に向けた取組みを進めてまいりました。

このたび、更なるレジ袋の削減を図るため、コンビニエンスストア4社の協力の下、10月10日から順次、各社の市内全店舗のレジスターに、レジ袋が不要な場合の受け取り辞退を促すポップを設置します。また、10月下旬からは、北海道と連携し、市外の道内全店舗においても同様のポップを設置する予定です。

今回の取組みが、市民の皆さまが環境に配慮した取組みを行うきっかけとなることを期待しています。

1 概要

コンビニエンスストア4社の市内全店舗のレジスターに、エコバッグの利用促進や、レジ袋が不要な場合の受け取り辞退を促すポップ（縦11センチメートル・横8センチメートル）を設置し、レジ袋の削減を呼び掛ける。また、北海道の協力を得て、10月下旬から、北海道を通じて市外の道内全店舗においても同様のポップを設置予定。

2 ポップ設置開始日

2019年10月10日（木）から順次設置

3 背景

道内においては、大手スーパーを中心にレジ袋の有料化によるレジ袋の削減進んでおり、市内においても利用者の80%以上がその受け取りを辞退している。

一方で、コンビニエンスストア各社では、レジ袋の要否について声掛け等を行っているものの、レジ袋が無料ということもあり、利用者の多くが必要としない場合でも、レジ袋を受け取っているのが現状である。

こうした状況を踏まえ、札幌市では、レジ袋の削減を更に進めるため、コンビニエンスストア4社と協力し、各店舗のレジにポップを設置し、レジ袋が不要な場合は受け取らないよう促す取組みを行うこととした。



▲ポップ表面（客側）

▲ポップ裏面（店員側）

4 市内対象店舗（2019年8月末時点）

企業名※	セブン-イレブン	ローソン	セコマ (セイコーマート)	ファミリーマート	計
店舗数	347	259	332	148	1,086

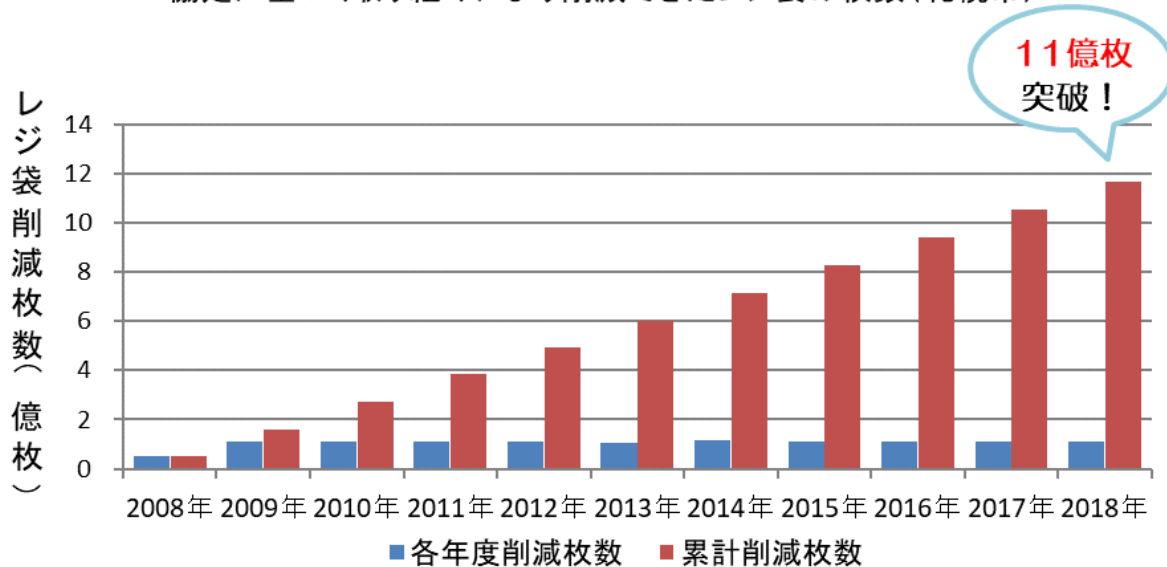
※一般社団法人日本フランチャイズチェーン協会加盟の企業

<参考：「レジ袋削減に向けた取組みに関する協定」に基づくレジ袋削減に向けたこれまでの取組みの効果>

	協定参加事業者数	店舗数	持参率※	レジ袋削減枚数	CO ₂ 削減量
2018年度 (2018.4~2019.3)	11	176	85%	1億1264万3989枚	5,244 t
取組み開始後 累計 (2008.10~2019.3)	-	-	集計期間平均 86%	11億6474万2184枚	54,220 t

※ 各店の2019年3月時点におけるマイバッグ持参率の平均

協定に基づく取組みにより削減できたレジ袋の枚数(札幌市)



問い合わせ先

環境局環境事業部循環型社会推進課 三好・川崎
電話：211-2912、ファクス：218-5108